

自動運転のために必要な通信環境に関する官民連絡会
第 1 回連絡会 議事要旨

(開催要領)

1. 開催日時：2025 年 1 月 29 日（水）15:00～16:40
2. 場 所：株式会社三菱総合研究所 本社 4 階会議室
オンライン会議（Microsoft Teams）

(議事次第)

1. 開会
2. 挨拶 総務省情報流通行政局地域通信振興課長
3. 議事
 - (1) 設置要綱（案）及び想定スケジュール
 - (2) 令和 6 年度実証事業の状況と自動運転関係者のヒアリング概要
 - (3) 海外導入事例
 - (4) その他
4. 閉会

○挨拶

総務省情報流通行政局地域通信振興課課長よりご挨拶いただいた。

○設置要綱（案）及び想定スケジュール

総務省地域通信振興課より、資料 1－1－1 及び資料 1－1－2 に基づき、設置要綱（案）及び想定スケジュールを説明し、了承された。

○令和 6 年度実証事業の状況と自動運転関係者のヒアリング概要

事務局より、資料 1－2 に基づき、令和 6 年度実証事業の状況と自動運転関係者のヒアリング概要を説明した。また、総務省地域通信振興課より資料 1－2 を踏まえた論点を説明した。なお、令和 6 年度実証事業の状況については、本会合に出席した実証機関から、適宜補足説明がなされた。

出席者からの主な意見等は以下の通り。

- キャリアの通信品質が安定しない場合、キャリアアグリゲーション技術による複数キャリアの回線を併用が技術的に有用であるが、複数キャリアと契約が必要なため、経済性について留意が必要。
- 令和 5 年度補正予算による実証では、携帯電話通信回線が正常に動作することを前提として検証を進めているが、大規模なシステム障害によるキャリア回線の停止などが生じることを想定して、キャリア回線の異常検知や回線切り替えの技術検証が必要になるのではないか。
- 自動運転車両のシステムに係るデバック作業において、数 TB オーダのデータが遠隔

で取得できないことが原因で、自動運転車両エンジニアが現地対応しなければならないとすると、スポット的に高速通信可能な設備が必要になるのではないか。

○海外導入事例

事務局より、資料 1-3 に基づき、自動運転サービスの海外における導入事例を説明した。出席者からの主な意見は以下の通り。

- 通信遅延があるため、遠隔操作による車両制御には留意が必要。米国の事例は回避行動のみのため、リスクは小さいと感じた。
- 遠隔操作に係る欧州の実証事例では、通信面でキャリアアグリゲーションやエッジコンピューティングを活用したが、どちらか一方が機能停止した場合に全体としてシステムが十分に機能するのか留意が必要。

(以 上)